

代を何とかしなければならぬ。そこで新世代奉仕委員会は現在3つの委員会がうまく機能し、活動がスムーズにいくよう手助けしている。14～18歳を対象にした、インターアクト、18～30歳を対象にしたローターアクト、そして14～30歳のライラの3つの委員会でいろいろな行事を行っている。それぞれの行事については2560地区全体の地区行事でもあり会員それぞれが積極的に参加して欲しい、会員がどれだけ一緒になって汗を流すかが、キーポイントになると思う。素晴らしい人との出会いが若者達に人生への夢や希望を与えることになるなら是非、人生経験豊富なロータリアンがそのチャンスを与え、話をしてやって欲しい、何故なら新世代の若者達には素晴らしい未来があることを強調していました。

大橋 政雄

第九分科会 米山奨学委員会

大島精次パストガバナーのお話があり創始者米山梅吉の米山基金の奨学事業を引継、多数の方々からのご寄付をお願いしますとのことでした。

2002年度奨学金申込者は1587人となりました。2560地区では、38名（新規は13名）です。

留学生3名が出席し、3名の意見では1年目はアルバイトをしながら、学校に通ったが、大変疲れて何の為に勉強にきたか分からなかった。2年目から米山奨学金を受けて、本当に生活が楽になり勉強に集中できる様になりましたとのことでした。奨学生にはそれぞれロータリアンのカウンセラーがついて日頃の相談にのっています。

佐野ガバナー年度は寄付目標額42,875,000円1人あたり17,500円（会員数2450人）の寄付をお願いしたい。10月に長岡技術大学に於いて、各国の留学生達が、国の料理を有料でバザー形式の飲食を行いますので、皆様方多数の出席をお願いしますとの要請がありました。

会員の声： 坂内 康男

*住宅性能保証制度について

住宅の品質確保の促進等に関する法律の施行により新築住宅の10年保証が義務となりました。工務店・住宅メーカー・分譲住宅会社等の住宅供給者が、新築住宅の構造耐力上、主要な部分と雨水の浸入を防止する部分についての瑕疵保証を10年間行うことが義務づけられています。そこで必要なのが第三者が保証をサポートするこの制度です。万が一、業者が倒産してしまっても、登録業者負担となる最初の2年間を含めた10年間の長期保証部分に保険の適用があるので安心です。

*住宅の完成保証制度について

住宅建設業者の倒産などによって、家が完成する前に工事中止……。もし、こんなことが起きたら、あなたはどうしますか。その工事を引き継いでくれる住宅建設業者を探さなければならぬ。追加の費用がかかったり前払い金が戻ってこないなど、大きな負担や損害を被ることにもなりかねません。そこで、こうした損害を最小限に抑えて家を完成させるために誕生したのが、(財)住宅保証機構の「住宅完成保証制度」です。

5月28日例会： 卓話「仕事や人生に大成功する方法」佐藤啓策会員

6月4日例会： 家庭会合報告会

6月11日例会： クラブフォーラム

6月16日例会： (日)社会奉仕事業「五十嵐川～歴史と自然の道」

6月18日例会： 16日に振り替え

6月25日例会： 会長幹事慰労会 18:30～ 三条ロイヤルホテル



三条北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例会日

2002. 5. 21

累計 No 754

当年 No 45

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五

ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会長/木 宮 隆

幹事/山 中 正

SAA/長谷川 恵慈

例会日/火曜日 12:30～13:30

例会場/三条ロイヤルホテル

事務局/三条市西四日町3-15-34

☎34-8111 FAX34-8114

ヒューマン・ハーバー内

☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事： 「地区協議会報告会」梨木会長、大野会員、早川職業奉仕委員長

佐藤（啓）社会奉仕委員長、馬場新世代奉仕委員長

出 席： 本日の出席 57名中 28名

先々週の出席率 57名中 48名 84.21%（前年同期74.14%）

先週のメイクアップ： 5月14日 田上RCへ 青木省一さん

15日 三条RCへ 青木省一さん、石川勝行さん、米山忠俊さん

柄沢憲司さん、高橋彰雄さん、佐藤啓策さん

16日 加茂RCへ 山口龍二さん、笹原壮玄さん

17日 吉田RCへ 山中 正さん

18日 地区協議会出席（敬称略）梨木建夫、大野新吉、米山忠俊

早川龍雄、佐藤啓策、佐藤文夫

馬場直次郎、羽賀一夫、大橋政雄

20日 三条南RCへ 中條耕二さん

ビジター： なし

会長挨拶： 木宮 隆



過日、NHKのドキュメント番組で、今、注目を集めているイギリスの二つの企業が紹介された。双方に共通している点は時代の潮流に逆行するビジネス・モデルということ。

一社はフェアトレードといって、「良いものを安く売る」に対抗し、「良いものなら高く買う」というモデルであり、もう一社はローカルプロデュースといい、伝統技術を活かして、国内で高品質な製品を製造するというもの。

世はまさにデフレスパイラルの時代・・・400円の牛丼が250円になり、100円ショップの次は88円ショップというように、値引き合戦は止まるところを知らない様相を呈している。そして、このマーケットにおける値下げへの圧力が製造業の生産拠点を中国などの賃金の安い地域にシフトさせ、国内産業の空洞化が助長されている。だとすれば、この二社はまさに時代に逆行している事になる。

一般に、製品やサービスなどの商品はメーカーから卸、小売などの流通業者を通してエンド・ユーザーである消費者へと流れる。コンシューマーズ・オリエンテーション（消費者志向）の下では、商品選択の決定権は消費者が握っている。だから、メーカーや流通業者は常に、消費者の立場で合理化や効率化に努めてきた。その結果、製造コストや流通コストは極限状態まで下がり、さらに、価格破壊、中抜きへと企業のサバイバル競争はエスカレートしている。しかし、これは経済原理に対する正しい対応なのだろうか？価格訴求が他の全ての競合要素に優先する市場環境は消費者の正しい選択だったのだろうか？

私にはそうとは思えない。むしろ、この現象はデイスカウンターと呼ばれるデフレの申し子達が仕掛けた一種の競争モデルの罠のような気がする。喧嘩でも戦争でも相手と競うときは、自分に有利な条件や環境下で勝負するのは戦略として当たり前の事だ。右四つの相撲取りは左四つでは力は半減してしまう。かくして、価格だけが突出した効果をもたらす戦場が現在のマーケットの特徴となった。しかし、マーケットには売りのマーケットの他に買いのマーケットもある。そして、この仕入のマーケットでは永田町同様の数の論理がまかり通っている。フェアートレードを掲げるイギリスの一家はこのマーケットに適正価格の論理つまり、価値の論理を持ちこんだと言えないだろうか。

マニュファクチャラーズ・オリエンテーションこんな言葉は存在しないけれど、丹精こめて作った製品を売る側の立場で考える企業が現れたと思えば良い。大量仕入の圧力に屈して、製品を買い叩かれるだけだった人達に、従来の三倍の価格で仕入れるとのオファーがあるとどうなるか。買い手市場が一夜にして、売り手市場に変わるのである。数の論理を価値の原理にかえる。まさにフェアートレード「公正な取引」の復活ではないのだろうか。

市場が適正な取引原理を取り戻すとき、メーカーは製品の偽装やすり替えの悪夢から解放されるだろうし、消費者もモラルを取り戻すこととなり、モラルハザードも解消される。

正義は必ず勝つと言うが、市場経済に安っぽいセンチメンタリズムを持ちこむつもりも無い。ただ、より多くの人に支持されることが市場での正義だとすれば、これらの企業が意外と月光仮面になるのかもしれない。

幹事報告： 山中幹事

- ・ガバナー、地区会員増強委員長より 5月6日各クラブ純増1名のお願い
- ・三条南RCより 6／10（月）例会時に野沢ガバナーの「人道的プログラム」についての説明があります。

会長幹事のご出席をお願いします

- ・三条市ともしび会より 平成14年度定例総会のご案内

日時 平成14年5月25日（土）9：30～

会場 三条中央公民館2F

- ・野沢ガバナーより 地区協におけるバザー協力の御礼
- ・最近連絡なしで例会を欠席される方が多くいらっしゃいます。欠席される場合は事務局までご連絡ください

ニコニコボックス：	21日現在累計 992,000円
-----------	------------------

高橋彰雄君 父の葬儀には皆さんに御香資を頂き、又お参り頂き大変ありがとうございました

た。

五十嵐茂君 葬儀の為地区協に参加できず大野さんに代理をしていただきました。大野さんに感謝申し上げ、当日のご報告宜しくお願い申し上げます。

今井克義君 すみません、早退します。夜は大野さん宅で家庭会合お世話になります。楽しみにしています。何が楽しみかは大野さん、おわかりですね。

山口龍二君 しまった、場所が悪かった。

坂内康男君 早川さんごくろうさん。

佐藤義英君 昨晚は五十嵐さん、お世話になりました。

西村護君 BOXに協力。

早川龍雄君 五番テーブルの皆さん、BOXの協力ありがとうございました。

地区協議会報告：

梨木会長エレクト

先週の土曜日に地区協議会に各委員長さんと9名で参加させて頂きました。代理の3人の方々には誠にありがとうございました。又皆さんにはホントに1日中、缶詰でご苦労さまでした。さて今回は3RC合同でバスを仕立て一緒に行く事になっており、今年は当クラブが当番クラブという事でしたが、私の女房役である五十嵐幹事が葬儀がもうかり欠席ということで、あわてて大野氏に代役で行って頂き、事なきを得、無事大役を務めさせてもらいまして、少しホッとしている所でもあります。

会議の内容ですが前に参加した会長セミナー「ベッツ」とほとんど同じ内容でした。佐野ガバナーエレクトがスクリーンを使つての講義は一緒でしたが、現野沢ガバナーの異様なはしゃぎようは、ご自分の年度は終わりに近づいたせいかジョークの連発でした。もともとエネルギーな人なのでそういう風に写ったのかもしれませんが？！佐野ガバナーエレクトは一見インテリジェンス風で温厚な紳士で野沢ガバナーとは相対的でした。2人のご関係は巻高校の先輩後輩でもあるということもご披露されました。

さて、全体会議の内容はベッツと異なった点は2点ばかりありました。それは1つは会員増強の目標は最初は各クラブにまかせるとのことでしたが、今回1クラブ5人を目標にするようにとのことで大小のクラブに関係なく一律に達成するようにとの事でいかに会員の増強問題が切実かを表しています。

又クラブの地域限界もなくしてどこからでも可能な限りOKであるとの見解も示されました。ワクがはずされ、大幅な譲歩が目立ち、それだけ緊急な事態であるという事でしょう。以上で5分間スピーチを終わらせて頂きますが、今現在は家庭会合の真最中で今日は2日目に当たります。昨日は衆楽館さんありがとうございました。本日は大野さん宅でありますのでよろしくお願いいたします。もうあと3日間ありますので、なかなか緊張感とはれませんが、あまり飲み過ぎないように気をつけながらこれからのクラブ運営についてのご意見等をお聞きし、スムーズな活動につなげていければと思います。

馬場新世代奉仕委員長

地区協議会は午後より各分科会に分かれ、それぞれが討議に入った。新世代奉仕委員会は今年の運営方針について長谷川大委員長より説明があった。日本の将来の為にロータリーは年齢30歳までの新世代の健全育成に取り組まなければならない、大きな目標を言うよりまず自分たちの周りの新世